

令和4年度

第1回 摂津市健康づくり推進協議会

1 日時 令和4年7月(書面開催)

2 案件

【議題】

(1) まちごと元気！健康せつつ21(第2次改訂版)計画 進捗 (資料1)
(令和3年度実績及び令和4年度事業計画)

【その他情報提供】

(1) 令和3年度 摂津市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の取り組み状況について (資料2)

(2) 令和3年度 予防接種実施報告 (資料3)

(3) 新型コロナウイルスワクチン接種事業 1～4回目接種 (資料4)

1 生活習慣病の早期発見・重症化予防

(1) がん検診の推進

目標

○がん検診の受診率向上を図る。

○がん検診の結果、精密検査が必要な場合はその結果を把握するとともに、未受診の場合は医療機関で精密検査を受けるよう促し、がんの早期発見・治療につなげる。

○検診受診率の向上、早期発見・治療により、がんによる死亡が減少する。

項目	目標項目	H20-24	H25-29	目標値
3	悪性新生物 SMR (標準化死亡比) 男	109.5	114.0	100
	悪性新生物 SMR (標準化死亡比) 女	102.0	108.5	未満

※次回更新は令和 7 年度

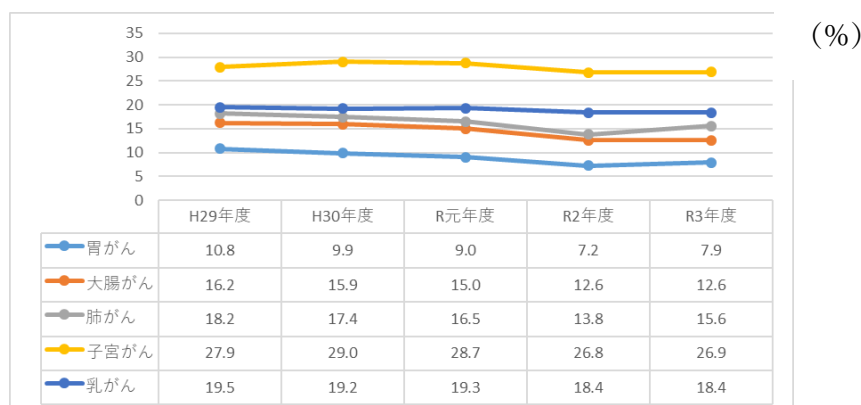
項目	目標項目	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
4	胃がん検診 受診率	10.8%	9.9%	9.0%	7.2%	7.9%		40%
5	肺がん検診 受診率	18.2%	17.4%	16.5%	13.8%	15.6%		35%
6	大腸がん検診 受診率	16.2%	15.9%	15.0%	12.6%	12.6%		30%
7	子宮頸がん検診 受診率	27.9%	29.0%	28.7%	26.8%	26.9%		35%
8	乳がん検診 受診率	19.5%	19.2%	19.3%	18.4%	18.4%		40%
9	がん検診 精密検査受診率	81.5%	89.0%	87.4%	89.7%	※R5.4 月に確定		90%

※R2 子宮がん検診は確報値に修正

※H29～R元年まで、修正（年度のずれあり）

※R3 年度受診率は暫定値

図表 1 がん検診受診率推移



図表2 がん検診精密検査受診状況（胃・大腸・肺・子宮・乳がんの合計）

	対象者数	受診者数	受診率	要精密検査者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率
H23年度	98,052	16,728	17.1%	608	3.6%	504	82.9%
H24年度	98,052	16,453	16.8%	606	3.7%	534	88.1%
H25年度	98,052	17,259	17.6%	643	3.7%	550	85.5%
H26年度	98,052	17,416	17.8%	652	3.7%	532	81.6%
H27年度	101,919	18,441	18.1%	782	4.2%	661	84.5%
H28年度	101,919	18,650	18.3%	906	4.9%	772	85.2%
H29年度	101,919	18,304	18.0%	799	4.4%	651	81.5%
H30年度	101,919	14,433	14.2%	882	6.1%	785	89.0%
R元年度	101,919	13,305	13.1%	653	4.9%	571	87.4%
R2年度	101,919	11,496	11.3%	503	4.4%	451	89.7%

【令和3年度計画】

- さまざまな機会を通じてがん検診の周知啓発をする。
- 受診場所や日時など様々な年代に合わせて受診機会を設定する。

【令和3年度取組みと評価】

- 小中学校より保護者向けにがん検診案内チラシを配布し、受診勧奨を実施した。
- 未受診者への受診勧奨の個別通知を圧着ハガキのわかりやすい内容で作成し発送した。
- コロナによる受診控えがあった令和2年度に比べると、若干受診率が改善しているが、直近5年間の推移をみると、受診率は低下しており、特に胃がん、大腸がん、肺がん検診では低下している。コロナの中での受診率向上の取組みが課題である。
- 検診の受診機会拡大に向け、新規に医療機関と調整を行った。
- 受診率の低い地域でバス検診を実施できるよう、施設状況の確認を行い、医療機関と調整した。

【令和4年度に向けた課題】

- がん検診受診率の向上
- 受診機会の拡大

【令和4年度計画】

- がん検診受診勧奨チラシの配布
- がんの早期発見、早期治療の必要性の周知
- 乳がん検診実施医療機関の拡充
- 受診率が低い地域でのバス検診実施

(2) 特定健診・特定保健指導の推進

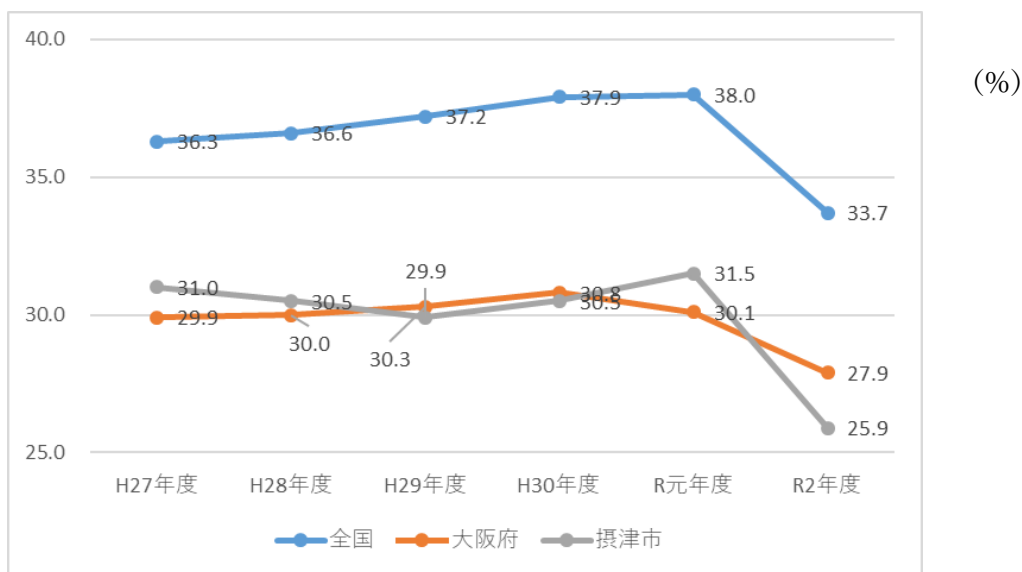
目標	
○市民が自らの健康状態を把握できるよう、特定健診の受診率向上を図る。	
○特定健診の結果、肥満・高血圧・高血糖・脂質異常などの所見があった場合などは、保健指導により要因となっている生活習慣を改善し、肥満の解消や疾病予防を行う。	

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
10	特定健康診査の受診率	29.9%	30.5%	31.5%	25.9%	28.2% (暫定値)		60%
11	特定保健指導の実施率	48.1%	43.0%	49.0%	69.8%	51.3% (暫定値)		60%

※令和3年度の法定報告は11月に確定。暫定値で報告。

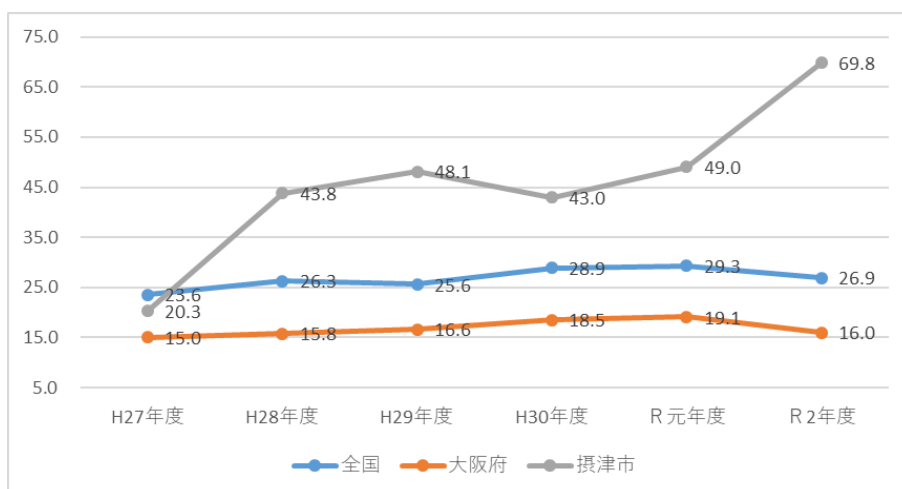
図表3 特定健康診査の受診率（法定報告）

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
全国	30.9	31.4	32.0	32.7	33.7	34.2	35.3	36.3	36.6	37.2	37.9	38.0	33.7
大阪府	24.9	25.5	26.7	27.3	27.7	27.9	29.1	29.9	30.0	30.3	30.8	30.1	27.9
摂津市	26.9	28.3	28.8	27.1	28.8	30.7	31.6	31.0	30.5	29.9	30.5	31.5	25.9



図表 4 特定保健指導の実施率（法定報告）

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
全国	14.1	19.5	19.3	19.4	19.9	22.5	23.0	23.6	26.3	25.6	28.9	29.3	26.9
大阪府	7.3	11.6	12.6	12.5	13.1	14.0	13.9	15.0	15.8	16.6	18.5	19.1	16.0
摂津市	17.0	16.3	10.1	16.5	19.4	23.6	19.7	20.3	43.8	48.1	43.0	49.0	69.8



【令和 3 年度計画】

- （特定健康診査）・出張型集団特定健診の実施の経常化を図る。
 - ・AI を活用し、ナッジ理論を取り入れた受診勧奨ハガキの送付などの新規事業も実施し、受診率向上を図る。
- （特定保健指導）・健診当日における簡易な面談（プレ指導）を引き続き実施し、利用者増を図る。

【令和 3 年度取組みと評価】

- （特定健康診査）・受診率は対前年度比較すると回復傾向にあるが、いまだ新型コロナウイルス感染症の影響が残り、感染症蔓延前の受診率までは回復していない。受診勧奨では従来と同じ電話勧奨に加え、AI を活用した受診勧奨ハガキの送付といった新規事業を実施し、年度末には出張による集団特定健診も実施した。
- （特定保健指導）・対象者へ健診結果説明会の実施及び参加案内文書の送付を行い、不参加者には電話による参加勧奨を実施するとともに、電話や面談等による指導を行った。

【令和 4 年度に向けた課題】

- （特定健康診査）・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施に努める。
 - ・令和 3 年度において実施した出張による集団特定健診の経常的な実施を図る。
- （特定保健指導）・特定保健指導の対象者にもれなく指導が行き届くように、効果的な参加勧奨手法を検討の上、実施する。

【令和 4 年度計画】

- （特定健康診査）・出張型集団特定健診の実施の経常化を図る。
 - ・引き続きメッセージ訴求に力を入れたナッジ理論を活用した受診勧奨等の実施を通じて受診率向上を図る。
- （特定保健指導）・健診当日における簡易な面談（プレ指導）を引き続き実施し、その他の効果的な勧奨手法を検討していく。

(3) 循環器疾患対策の推進

目標	
○特定健診の結果、肥満・高血圧・脂質異常などがあった場合には、生活習慣の改善及び必要時に医療機関受診を促し、重症化を予防する。	
○生活習慣病予防に関する情報発信を積極的に行い、市民がよりよい生活習慣を身につけることにつなげる。	
○上記により、結果として脳血管疾患や心疾患等による死亡が減少する。	

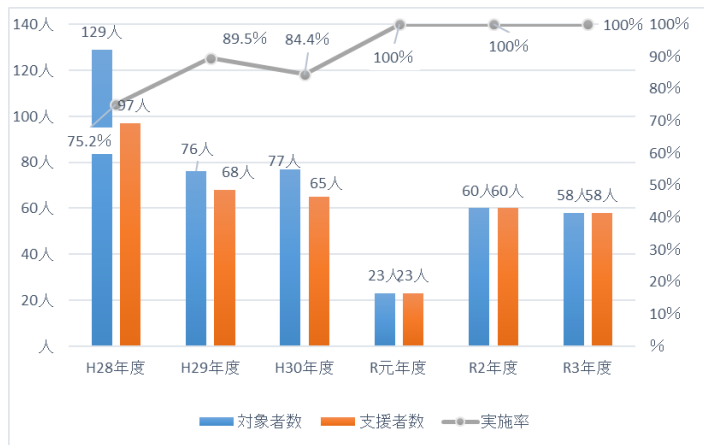
項目	目標項目	H20-24	H25-29	目標値
12	脳血管疾患の標準化死亡比(SMR)	男 91.4	男 80.9	現状値より減少
		女 55.6	女 84.9	
13	心疾患の標準化死亡比(SMR)	男 108.6	男 104.0	100 未満
		女 101.4	女 103.3	

※次回更新は令和 7 年度

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
14	収縮期血圧(平均値)	男 131.6 mmHg	男 131.7 mmHg	男 130.4 mmHg	男 132.1 mmHg	*R4年 11月確定		男 128.5 mmHg 女 127.4 mmHg H20年度比 4 mmHg 低下
		女 129.0 mmHg	女 128.1 mmHg	女 128.2 mmHg	女 129.3 mmHg	*R4年 11月確定		
15	血圧高値(収縮期血圧 160 mmHg 以上または拡張期血圧が 100 mmHg 以上)の者の割合(服薬者含む)	男 6.0%	男 6.5%	男 4.2%	男 6.6%	*R4年 11月確定		男 4.6% 女 3.0% H24年度比半減
		女 5.0%	女 4.6%	女 3.6%	女 4.9%	*R4年 11月確定		
16	血圧高値(収縮期血圧 180 mmHg 以上または拡張期血圧が 110 mmHg 以上)の者の割合(服薬者含む)	男 0.7%	男 0.7%	男 0.9%	男 1.4%	*R4年 11月確定		男 0.6% 女 0.5% H24年度比半減
		女 0.8%	女 0.7%	女 0.7%	女 0.7%	*R4年 11月確定		

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
17	脂質異常(LDLコレステロール 140mg/dl以上)の者の割合(服薬者含む)	男 21.4%	男 23.4%	男 23.2%	男 25.0%	*R4年 11月確定		男 19.3% 女 21.5% H29年度比 10%減
		女 23.9%	女 28.5%	女 27.2%	女 29.3%	*R4年 11月確定		
18	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	該当者 19.8%	該当者 20.7%	該当者 21.0%	該当者 21.7%	*R4年 11月確定		該当者 14.8% 予備群 10.1% H20年度比 25%減
		予備群 13.0%	予備群 13.0%	予備群 14.0%	予備群 12.4%	*R4年 11月確定		

図表5 ハイリスクアプローチ(早期受診勧奨)



【対象者】

～H28年度

高血圧(180/110以上)

高血糖(HbA1c8.0%以上)

(55歳未満かつ180mg/dl以上)

肝機能(GOT・GPT100IU/l以上)

H29年度 変更点

肝機能はグラフから削除(文書指導)

H30年度 変更点

高血糖(HbA1c7.0%以上)

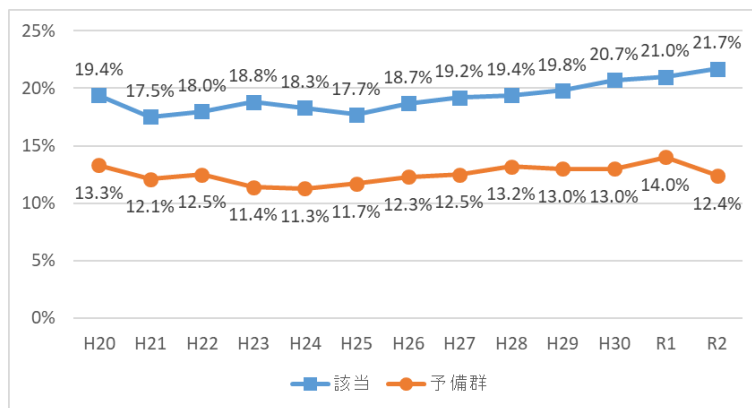
【目標値】(データヘルス計画)

保健指導実施率 85%

R元年度～

レセプトを確認のうえで、受診勧奨

図表6 メタボリックシンドローム 該当者・予備群の推移



【令和3年度計画】

- 健診受診者への受診勧奨をタイムリーに行い、医療につなげる。
- 動画配信による啓発を実施する。
- ハイリスク者の基準について見直しを行なう。

【令和3年度取組みと評価】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、電話中心の支援であったが、健診結果送付後タイムリーに介入することができた。
- 健康づくり推進月間に啓発動画「甘く見ないで！LDL コレステロール～知らないうちに血管が～」を作成し、ホームページ上で公開した。「LDL コレステロールが臓器で作られているとは知らなかった。健診でひっかかったので、これから食生活など気を付けたい」など、予防や治療について啓発できた。
- 各目標項目において、前年度に比べて数値が悪化している。各数値が高いことが循環器疾患につながることを、再度周知する必要がある。
- ハイリスク者基準について、令和4年度からの追加点・変更点について検討した。
- 令和3年度に早期アプローチしたハイリスク対象者のうち、すぐに医療機関へ受診された方は約3割であった。年度を超えての継続的な介入や受診勧奨の強化が必要である。

【令和4年度に向けた課題】

- ハイリスク対象者に対する、継続した受診勧奨への支援

【令和4年度計画】

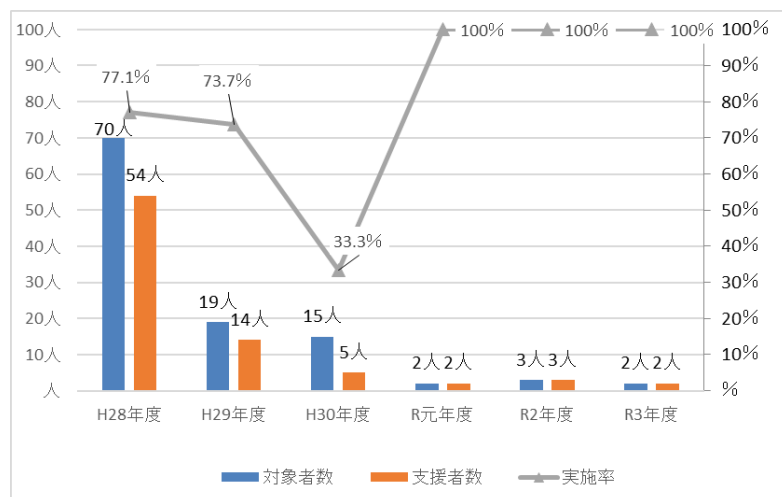
- 令和3年度ハイリスク者で、令和4年度も医療機関未受診・健診未受診者に対し、継続的に介入する。
- 受診勧奨通知のデザインを変更。
- 新たなハイリスク者基準を決定。(LDL コレステロール対象の年齢を60歳未満に引き上げ。高血圧・脂質異常・糖尿病の危険因子が重複している者。)
- 若い世代の方へも啓発できるよう、動画配信による啓発を実施する。

(4) 糖尿病対策、慢性腎臓病（CKD）対策の推進

目標	
○健診結果で血糖が高値だった場合、生活習慣の改善及び必要時に医療機関を受診することにより、重症化を予防する。	
○重症化予防に取り組み、糖尿病による合併症を予防する。	
○腎機能低下がみられた際には、主治医と連携し、腎専門医への受診勧奨や生活指導を行うことにより、末期腎不全への進行を遅らせる。	

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
19	血糖高値の者の割合 空腹時血糖値 ≥ 126mg/dl 随時血糖値 ≥ 200mg/dl HbA1c (NGS P) ≥ 6.5%	9.3%	9.9%	11.3%	10.7%	*R4年 11月確定		8.7% 未満 H27年度から 減少

図表7 CKDアプローチ（腎症重症化予防）



【対象者】
 ～H28年度
 e-GFR 基準値に該当する者

【変更点】
 H29年度～
 e-GFR の下限を 15 とした
 e-GFR 基準値該当者かつ尿蛋白＋
 以上で人工透析者を除く

H30年度～
 人工透析者等を除く

【目標値】（データヘルス計画）
 保健指導実施率 85%以上

R元年度～
 レセプトの主病名が腎疾患で治療
 中、透析、腎専門医受診中は除く

【令和3年度計画】

- 糖尿病の未受診者については健診後速やかに受診勧奨を行い、受療の状況を確認する。受療につながらない場合は継続して支援する。
- CKD の腎専門医への連携について整理する。
- 健診未受診者へのポピュレーションアプローチの効果的な方法について検討する。

【令和3年度取組みと評価】

- 健診結果から、血糖高値の対象者に対し、電話による受診勧奨を行った。未治療者 26 名のうち受診につながった方は 4 名のみであった。
- 糖尿病に対するポピュレーションアプローチは、令和 2 年度に作成した生活習慣病に関する動画の配信を引き続き実施し、新型コロナワクチン集団接種会場での放映を行った。接種後の待機時間を利用したことで、普段あまり見ない方でも見ていただくことができた。

【令和4年度に向けた課題】

- 糖尿病の未受診者が多い。治療拒否や架電も切られるなど明らかな介入拒否は少ないが、特定保健指導や電話で介入し勧奨しても受診につながる事が少ない。
- 肥満を伴う血糖高値者が 7 割以上である。

【令和4年度計画】

- 令和3年度の糖尿病未受診者で、令和4年度も医療機関未受診・健診未受診者に対して、再度電話や訪問等で継続的に介入していく。
- 受診勧奨通知のデザインを変更し、結果到着時に目に留まりやすい工夫をする。
- 引き続き、動画配信による生活習慣病の啓発を実施する。
- CKD 対象者について、腎専門医紹介基準の整理、担当者間で周知・統一する。

2 生活習慣の改善

(1) 栄養・食生活

目標	
○子どもの頃から、食の楽しみを知り食に対する関心を深めるとともに、正しい食習慣を身につけることができるよう、食育を推進する。	
○栄養・食生活に関する情報発信を強化していくことで、正しい知識の普及に努め、食生活の改善を図ることにより、生活習慣病の予防や改善につなげる。	
○必要時には、専門職による個別支援を行い、食生活の改善を図り、生活習慣病の重症化予防を行う。	

項目	目標項目	H30 年度 (2018)	次回 アンケート結 果	目標値
21	共食（夕食）の割合（小5）	96.4%		現状値より 上昇
	共食（夕食）の割合（中2）	94.4%		
23	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事1日2回以上の割合	42.9%		73.5%
24	薄味にしている人の割合	34.6%		41.7%

項目	目標項目	H28 年度 (2016)	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	目標値
20	朝食を毎日食べている割合（小6）	81.7%	81.9%	80.1%	80.6%	-	83.4%	現状値より 上昇
	朝食を毎日食べている割合（中3）	79.1%	79.5%	72.5%	75.3%	-	78.4%	
22	離乳食講習会の参加率（第1子）	48.5%	48.7%	48.2%	43%	36.5%	集計中	60%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、項目20の大阪府学力・学習状況調査の実施なし。

※令和元年度「離乳食講習会の参加率（第1子）」を下方修正（66%→43%）

【令和3年度計画】

- ・情報発信の方法として、ホームページに加え、SNSを活用した方法も検討する。
- ・年間3回、共通食材や共通献立の提供を全市的に実施する。

【令和3年度取組みと評価】

- ・毎月19日にホームページを更新し、栄養・食育に関する情報を発信した。
- ・健康づくり推進月間に、脂質異常症・オーラルフレイル・食事をテーマとした動画を2本配信した。それにより、多くの方に食育や健康づくりの観点から栄養・食生活についての啓発ができた。
- ・年間3回、全市的にできる食育啓発として共通食材や共通献立の提供を教育委員会と連携して実施した。
- ・コロナ禍で講習会参加実施が困難になり、また参加率も下がっていることから、講習会で実施している実演の内容をyoutube上に公開した。

【令和4年度に向けた課題】

- 学校現場でもICT活用した食育が行えている状況である。時代のニーズに合わせた食育啓発を行う必要がある。
- 調理実習の実施に代わる、食を通じた健康づくりの提案。

【令和4年度計画】

- 市公式のクックパッドを開設し、あらゆる世代に様々な角度で栄養・食生活に関する情報発信を強化する。
- 一人暮らし高齢者向けフレイル予防レシピブックを作成し、一人暮らしの高齢者などに配布する。

(2) 運動・身体活動、社会環境

目標	
○市民に働きかけ、日常生活における身体活動・運動量を増やしていく。	
○ウォーキングコースなどを活用した取組みを推進する。	
○健康づくりに取り組み自主組織数を増加し、住み慣れた地域での活動を通じて、社会参加につながるよう支援を行う。	

項目	目標項目	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
25	運動の継続 1 回30分・週2 日・1年以上	男	46.0%	45.7%	43.7%	44.0%	*R4年 11月確定	55.3%
		女	43.5%	42.0%	41.6%	41.8%	*R4年 11月確定	48.5%
26	身体活動 日常生活で歩 行又は同等の 身体活動1時 間/日以上実施	男	58.1%	58.6%	60.2%	54.8%	*R4年 11月確定	63.5%
		女	59.1%	59.3%	57.4%	58.9%	*R4年 11月確定	61.0%
27	健康づくり自主組 織数	53団体	57団体	58団体	57団体	51団体		90団体

【令和3年度計画】

- コロナ禍においても、市民が安全に運動を行えるような取組みの検討・実施。

【令和3年度取組みと評価】

- 感染状況を見極めつつ、消毒・検温など感染防止対策を講じながら、うきうきせつウォーキングを再開した。参加された市民の方は、待ち遠しく待っておられた方も多くおられ、50人前後が参加されていた。ただ、コロナ禍において、在宅で過ごされていた方も多く、体力が落ちている参加者も数名いたため、安全に実施していけるよう配慮が必要であった。

【令和4年度に向けた課題】

- ・特定健診の問診票で「運動の継続・身体活動をしている」と答えた人の割合が減少傾向にある。また新型コロナウイルス感染症の影響によるフレイル予防にも取り組む必要がある。うきうきせつつウォーキングの参加者数も年々減っており、市内全体で運動量を増やせるような活動や方法の周知の強化が必要。
- ・地球温暖化に伴い、気温の上昇が著しく、またその期間が長期に渡っているため、熱中症への対策を講じながら実施していく必要がある。

【令和4年度計画】

- ・密にならず、安全で手軽にできるウォーキング方法について、その効果や正しい歩き方を改めて周知できるように、動画を作成し、配信する。また、ウォーキングコースの紹介や、健康器具の使い方についても紹介していく。
- ・市内ウォーキングコース全てを一覧できるマップを作成し、市内で手軽にできる運動、またその方法についてさまざまな機会に周知していく。

(3) 休養・睡眠

目標	
○適切な睡眠のとり方について知り、睡眠による休養がとれるようになることで、こころの不調や生活習慣病を予防する。	

項目	目標項目		H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
28	睡眠による休養を十分とれていない者の割合	男	27.3%	27.3%	27.9%	28.0%	*R4年 11月確定		20% 未満
		女	31.6%	32.0%	31.9%	30.7%	*R4年 11月確定		

【令和3年度計画】

- ・健康づくり推進月間に「睡眠」に関する動画作成を行い、多くの市民へ睡眠に関する興味関心を持ってもらう。

【令和3年度取組みと評価】

- ・健康づくり推進月間に「睡眠」に関する動画配信を行い、視聴回数は1270回であった。
- ・動画のアンケートでは、睡眠の知識について、「自分自身、睡眠について悩んでいたこともあり今回取り上げられていて大変勉強になった」「動画を見て今まで知らなかった事を知ったり、今迄以上に健康に感心するような気持ちになった。」等の意見がみられた。

【令和4年度に向けた課題】

- ・特定健診の質問票で、「睡眠による休養を十分にとれていない」と回答した男性の割合が微増傾向にある。
- ・女性は低下傾向も、男性に比べ割合が高い。

【令和4年度計画】

- ・ホームページ、広報紙での啓発。動画への誘導。
- ・健康まつりやリハビリサロン等で、睡眠や休養に関する情報を引き続き啓発していく。

(4) こころの健康

目標	
<p>○ストレスへの対処法を知り、実践することができるようになる。</p> <p>○メンタル不調を感じた時に、一人で悩みを抱えることなく相談や、医療機関への受診ができる。</p> <p>○地域でつながりを持ち、孤立することなく生活ができる。</p> <p>○上記により、自殺に追い込まれないよう支援する。</p>	

項目	目標項目		H30年度 (2018)	次回 アンケート結 果	目標値
29	ストレスが多いと感じている者の割合	男	16.8%		20% 未満
	ストレスが多いと感じている者の割合	女	23.2%		

項目	目標項目	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
30	摂津市の自殺者数 (人口動態統計)	11人	20人	13人	16人	現時点で 未公開		0人

【令和3年度計画】

- ・健康づくり推進月間に、こころの健康を目的とした動画の配信。
- ・相談機関が連携して取組みを推進する。

【令和3年度取組みと評価】

- ・9月（自殺予防週間）と3月（自殺対策強化週間）に、こころの健康について広報紙に掲載した。また、2月に、相談先に関する啓発チラシを自治会を通じて回覧した。
- ・11月の健康づくり推進月間に、「最近よく眠れていますか～こころもからだも健康に～」をテーマに睡眠に関する動画を配信した。「睡眠について悩んでいたのが、今回取り上げられていて参考になった」などご好評をいただいた。
- ・コロナ禍におけるこころの健康への取り組みとして、「新型コロナウイルスとこころの健康」リーフレットを新たに市内3か所に配架した。
- ・摂津市の自殺者の特性について、庁内の相談業務代表者会議で共有した。
- ・産後ケアが利用できる事業所を2か所増やし（4→6）、利用しやすい環境を整備し、産婦の産後うつ予防に努めた。
- ・妊産婦に対して、産前産後ヘルパー事業を実施し、産後うつの予防に努めた。

【令和4年度に向けた課題】

- ・ストレスが多いと感じる世代として、男性では50代、女性では40代が多い。（健康せつ21中間評価）働く世代のストレス対策に関して検討する必要がある。

- ・摂津市の自殺者の特徴としては、高齢者が多く、危機経路としては失業、生活苦、介護の悩みが多い。(地域自殺実態プロフィール2021)一つの機関ではなく、関係機関で共有していく必要がある。
- ・継続して産後うつ予防、早期発見、早期支援を実施する。

【令和4年度計画】

- ・働き世代や若年層にもアクセスしやすい方法として、SNS を利用した相談先をホームページに追加記載する。
- ・医療機関への受診が必要と思われるケースに関しては、茨木保健所による「こころの健康相談」を紹介するなど、引き続き連携を図る。
- ・引き続き、9月(自殺予防週間)と3月(自殺対策強化月間)に、こころの健康について広報紙に掲載するとともに、2月には、相談先に関する啓発チラシを自治会を通じて回覧し、より多くの市民の方に啓発できるようにする。
- ・摂津市の自殺者の状況について、庁内の相談業務代表者会議で共有し連携していく。
- ・産後ケア事業および産前産後ヘルパー事業の充実を図る。

(5) 喫煙

目標	
○肺がん検診、特定健診、母子健康手帳交付時など、様々な機会を活用し、喫煙者に対して禁煙を提案していく。	
○禁煙を希望する場合は、禁煙治療の紹介などの禁煙サポートを実施する。	
○たばこが健康に及ぼす影響について啓発を実施していく。	
○路上喫煙禁止地区を設定するとともに、健康増進法等に基づき啓発を行うことにより、受動喫煙防止対策を推進する。	

項目	目標項目	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
31	成人の喫煙率(男)	24.7%	24.2%	24.2%	22.6%	*R4年 11月確定		20%以下
	成人の喫煙率(女)	6.2%	6.2%	7.2%	6.9%	*R4年 11月確定		5%以下
32	妊婦の喫煙率	2.0%	1.1%	0.6%	1.9%	1.5%		0%
33	市内公立学校における敷地内禁煙の割合	100%	100%	100%	100%	100%		100%
34	病院における敷地内禁煙の割合	50%	50%	75%	調査実施せず	75%		100%
35	公共機関(市の施設)における敷地内禁煙の割合	建物内 禁煙 100%	建物内 禁煙 100%	敷地内 禁煙 100%	敷地内 禁煙 100%	敷地内 禁煙 100%		敷地内禁煙 100%
36	路上喫煙禁止地区の設定	2か所	2か所	3か所	3か所	3か所		4か所

【令和3年度計画】

- ・受動喫煙防止対策の継続実施
- ・様々な機会を活用し、情報の周知・啓発の実施。

【令和3年度取組みと評価】

- ・広報紙やポスター等で世界禁煙デー・禁煙週間における周知啓発を行った。
- ・引き続き、集団健診会場で禁煙指導を行った。
- ・ホームページでたばこに関する周知を行っているが、定期的に市民から受動喫煙防止策等、市の取組みについて問い合わせがあり、その都度個別に問い合わせに回答した。
- ・成人男性、女性ともに喫煙率が若干減少傾向である。

【令和4年度に向けた課題】

- ・たばこに関する取組みについて、周知を強化する。

【令和4年度計画】

- ・市の取組みなど、最新情報をホームページや広報紙に掲載し、周知を強化する。様々な機会を活用し、受動喫煙防止対策等の周知啓発を継続実施する。

(6) 飲酒

目標	
○飲酒が身体に及ぼす影響について啓発を行い、過度な飲酒を減らす。	
○妊婦の飲酒を防止するための働きかけを行う。	

項目	目標項目		H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
37	純アルコール摂取量(1日あたり)が 男 40g 以上 女 20g 以上	男	15.0%	14.4%	19.1%	18.0%	*R4年 11月確定		男 13.9%以下 女 4.7%以下 H26年度より 減少
		女	7.7%	6.9%	11.2%	11.3%	*R4年 11月確定		
38	妊婦の飲酒率		0.2%	0.7%	0.1%	0.4%	0%		0%

【令和3年度計画】

- ・様々な機会において情報発信。
- ・各機関と連携し、取組みを推進。

【令和3年度取組みと評価】

- ・5月、11月、3月の広報紙にアルコールを含めた依存症に関する記事、相談窓口を掲載した。
- ・成人祭で、アルコールを含めた依存症に関するチラシを配架した。

【令和4年度に向けた課題】

- 令和2年度は、令和元年度に比べ過量飲酒者が減少～変化なしであるが、経年的にみると増加傾向にある。
- 男性では50代、女性では20代の過量摂取者が多い。

【令和4年度計画】

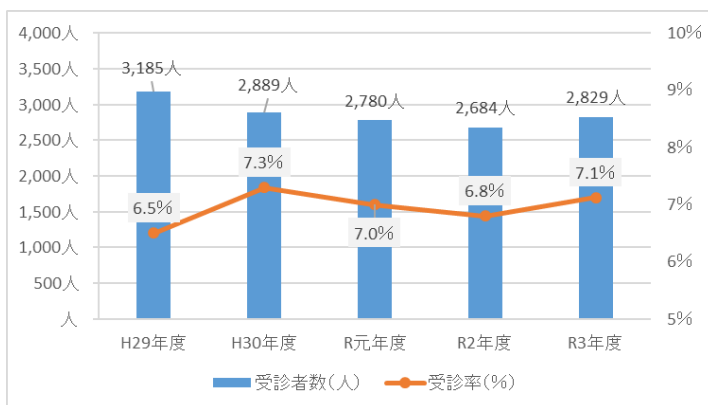
- ホームページに依存症別の記事を記載する。
- 広報紙で定期的にアルコールを含めた依存症に関する記事、相談窓口を掲載する。
- 成人祭で、アルコールを含めた依存症に関する啓発を行う。
- 依存症に関する相談については、茨木保健所や医療機関、庁内の相談各課と連携し、支援していく。

(7) 歯と口の健康

目標
○歯と口の健康づくり推進のため、歯科健診受診率向上に取り組む。
○啓発を行い、市民の歯と口の健康づくりの意識向上を図る。

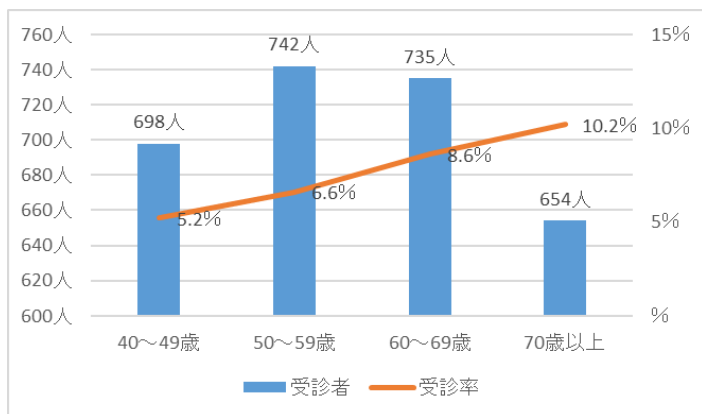
項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
39	むし歯のない幼児(3歳児)の割合	84.5%	86.0%	85.3%	88.8%	89.8%		85%
40	過去1年間に歯科健診を受診した割合	アンケート未実施	63.1%	アンケート未実施	アンケート未実施	アンケート未実施		70%
41	1歳6か月児歯科健診受診率	99.0%	97.4%	97.1%	99.5%	98.4%		現状値以上
42	2歳6か月児歯科健診受診率	90.8%	93.1%	92.5%	94.5%	87.4%		
43	3歳6か月児健診歯科健診受診率	94.8%	93.2%	96.3%	99.3%	95.0%		

図表8 摂津市成人歯科健診の受診状況(参考値) 上記表のデータはアンケートによるもの



※平成30年度から、後期高齢者歯科健診が開始となり、対象者が減少。

図表 9 摂津市歯科健診受診者年齢区分（令和3年度）

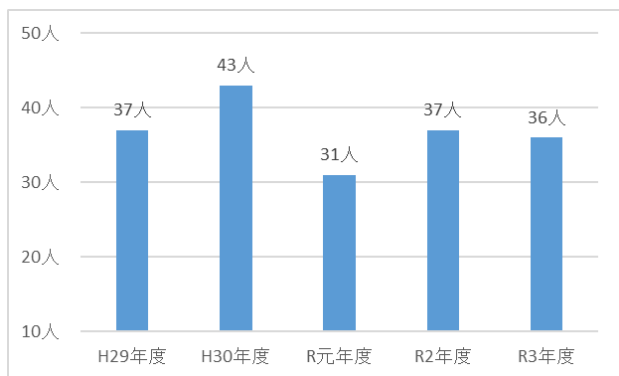


【参考】令和3年度実績
 40歳代 5.2%
 50歳代 6.6%
 60歳代 8.6%
 70歳以上 10.2%

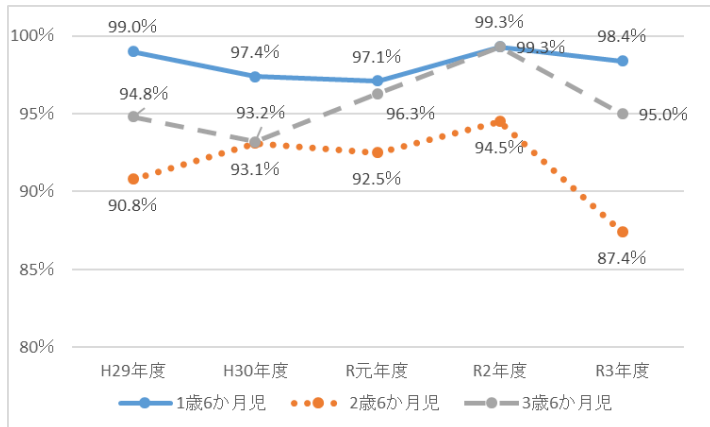
図表 10 摂津市歯科健診 無料クーポン利用者推移

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
40歳	14.0%	14.7%	12.0%	16.6%	20.7%
45歳	13.8%	13.7%	12.5%	14.4%	14.4%
50歳	13.1%	13.2%	12.6%	15.0%	15.1%
55歳	13.7%	16.4%	16.1%	19.0%	17.3%
60歳	16.5%	15.5%	16.1%	17.8%	20.4%
65歳	17.7%	17.9%	15.6%	18.7%	18.6%
70歳	20.2%	17.1%	19.4%	18.3%	19.3%
全体	15.5%	15.3%	14.6%	16.9%	17.6%

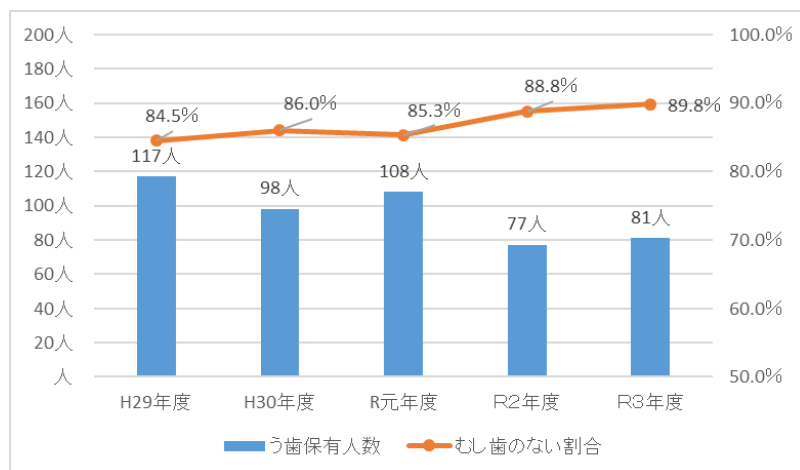
図表 11 摂津市高齢者訪問歯科健診 受診人数



図表 12 摂津市乳幼児健診における歯科健診受診率



図表 13 3歳児のう歯保有状況推移（3歳6か月児健診結果）
（※データは、う歯保有人数及びう歯が無い子どもの割合）



【令和3年度計画】

- ・受診勧奨のハガキの1回目の送付時期を健診が始まる5月に送付する。
- ・歯科健診啓発のポスターの内容やデザインの変更。
- ・5月の自治会回覧で歯科健診の受診啓発を行う。
- ・新型コロナワクチンの集団接種会場で、啓発のチラシを配布する。
- ・乳幼児歯科健診における指導内容の検討。

【令和3年度取組みと評価】

- ・無料クーポン受診者への未受診勧奨ハガキを、各健診（検診）が始まる5月に送付するとともに、11月にも再送付した。いずれも、送付の翌月には、無料クーポン対象者の受診者の増加がみられたため、受診率向上に一定の効果があると考えられる。
- ・成人歯科健診のポスター掲示・広報紙・自治会回覧（6月）・健診等に加え、新型コロナワクチン接種会場で、歯科健診の必要性を伝えた。
- ・健康増進月間である11月1日～30日に、「油断しないで！オーラルフレイル～マスクの下で進んでるかも～」の動画を配信し、オーラルフレイルの予防と、歯科健診受診への啓発を行った。「マスクをつける生活が続き、口の周りを動かすことが少なくなったので、お風呂で口の運動をしようと思った」などのお声があり、オーラルフレイルの予防について、知っていただく機会となった。
- ・2歳6か月児歯科健診でフッ素入り歯磨き粉を配付し、日常の歯科保健の意識の啓発を行った。

【令和4年度に向けた課題】

- ・成人歯科健診の必要性や市の健診を受けるメリットが市民に伝わっていない可能性がある。
- ・受診率の微増はみられるが、70歳以上の受診率が伸び悩んでおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため歯科健診を控えた可能性もある。

【令和4年度計画】

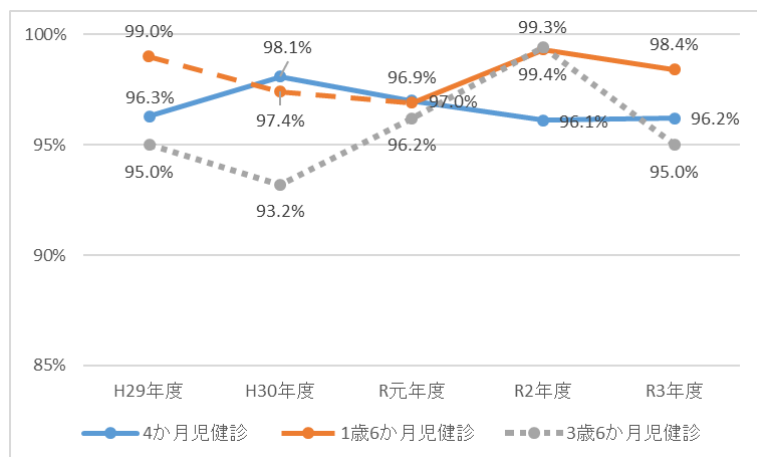
- ・受診勧奨ハガキを5月と1月に継続して送付する。
- ・歯科健診啓発のポスターの内容やデザインを変更する。
- ・5月の自治会回覧やイベント、その他、保健活動等で歯科健診の受診啓発を行う。
- ・日常の歯科保健の意識の啓発。

(8) 母子保健

目標	
○妊娠期から保健師、助産師による面接、訪問等の支援を実施し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを行います。	
○訪問、乳幼児健診などにおいて、発育、発達、育児などに関する不安解消のための相談ができる体制を作り、子どもの健やかな発達を支援します。	

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
44	4か月児健診受診率	96.3%	98.1%	97.0%	96.1%	96.2%		現状値 以上
45	1歳6か月児健診受診率	99.0%	97.4%	96.9%	99.3%	98.4%		
46	3歳6か月児健診受診率	95.0%	93.2%	96.2%	99.4%	95.0%		
47	こにちは赤ちゃん訪問実施率	90.0%	90.3%	92.0%	87.4%	87.2%		

図表 14 乳幼児健診受診率



【令和3年度計画】

- 関係機関における発達支援体制の強化。
- 産後うつ予防に対する支援体制の強化。

【令和3年度取組みと評価】

- 新生児聴覚検査への助成を開始し、難聴児に対する支援体制を整備した。
- 関係機関による発達支援担当者会議を開催し、発達支援に関する課題を共有した。
- 不育症治療に係る費用の内、保険外診療となるものへの助成制度を開始し、安心して妊娠・出産できる環境支援を図った。

【令和4年度に向けた課題】

- 子育て世代包括支援センターにおける切れ目のない支援体制の整備
- 多胎妊産婦への支援体制の整備

【令和4年度計画】

- 子育て世代包括支援センターの連携強化
- 多胎妊産婦への支援体制の強化

(9) 北大阪健康医療都市（健都）を中心とした健康・医療のまちづくり

目標

- 北大阪健康医療都市（以下「健都」という。）を中心に、循環器病をはじめとする生活習慣病の予防と健康づくりの先進地域づくり（健康・医療のまちづくり）を推進する。
- 「連携・協力に関する基本協定」を締結した国立循環器病研究センター（以下「国循」という。）をはじめ様々な主体との連携・協働を促進し、市民の疾病予防・健康づくりを推進する。
- 国立健康・栄養研究所（以下「健栄研」という。）と協力し、市民に対する運動・栄養に関する情報発信を強化するとともに、生活習慣の改善、疾病予防、重症化予防に取り組む。

【令和3年度計画】

- ・循環器病予防の動画を作成し、ホームページ上で配信する。
- ・令和4年度に予定されている健栄研の移転を見据え、国循や吹田市と連携を深めることでスムーズな移転を目指す。
- ・産学官民様々な企業や大学、市民が健都でつながれるプラットフォーム事業が円滑に進むよう、関係機関で協議を重ねる。

【令和3年度取組みと評価】

- ・循環器疾患のリスクファクターであるLDLコレステロールについて、国循の医師と管理栄養士にご協力いただき、予防と早期治療について啓発する動画を作成し、配信した。
- ・健栄研の健都へのスムーズな移転に向け、健栄研をはじめ、大阪府や吹田市と協議した。
- ・健都における産学官民連携プラットフォーム事業として、企業や研究機関と市民をつなぐ取り組みである「健都ヘルスサポーター制度」を吹田市と共に構築し、キックオフイベントを行った。それにより、市民が健都において、様々な企業や研究機関・大学等とつながることができるしくみができた。

【令和4年度に向けた課題】

- ・令和4年度の健栄研の移転にあたり、引き続きスムーズな移転に向けた協議が必要。
- ・国循を代表機関として、本市も参画した産学官民連携プロジェクトが、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「共創の場形成支援プログラム（バイオ分野・本格型）」に採択され、産・学・官の融合連携ができる「共創の場」としての拠点を健都に設けることとなった。これを受け、健都ヘルスサポーターを含む産学官民プラットフォーム事業についても、令和5年度に共創の場拠点に融合することになり、既存の制度を保ちつつ、スムーズな移行が課題である。
- ・健都ヘルスサポーターは、6月7日時点で469名の方が登録されている。年代別では、40歳以上の方が多く、若い世代のサポーターを獲得していく必要がある。

【令和4年度計画】

- ・健栄研のスムーズな移転に向けた協議を関係者間でしていく。
- ・産学官民プラットフォーム事業のスムーズな共創の場への移行を踏まえ、引き続き、大阪府、吹田市、国循等の関係機関と協議を重ねていく。
- ・市民参加型の地域実証事業を進め、市民に健康への気づきを体感してもらうため、より多くの方にサポーター登録を促していく。若い時からの健康の取り組みを促すためにも、若い世代へのサポーター登録数をより増やす取り組みを行う。

国民健康保険被保険者の健康増進

KPI (指標)	特定健診受診率					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	40.0%	45.0%	50.0%	50.0%	55.0%
実績値	30.5%	31.5%	25.9%	28.2% (※)		

◇主要10事業

事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
1. 特定健診未受診者対策事業	<p>・ 特定健診の受診者数は3,676人（前年度比+522人）で、受診率は28.2%（前年度比+4.6ポイント）であった。</p> <p>（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■保健センターでの集団健診 2,197人（前年度比+242人） ■医療機関での個別健診 1,076人（前年度比-26人） ■新島飼公民館での出張集団健診 149人 ■別府コミュニティセンターでの出張集団健診 115人 ■人間ドック・職場健診受診者 139人（前年度比+42人） <p>・ 未受診者対策としては、9,690件に架電し286人の予約につなげた。</p> <p>・ ナッジ理論に基づき、対象者の特性に合わせて行動変容を促す勧奨通知を2回（各5,000通）送付し、2,128人の受診につなげた。</p>	<p>・ 特定健診の受診率は、前年度比では増加しているが、新型コロナウイルス感染症蔓延前と比較すると減少しているため受診率向上につながる取組を検討していく必要がある。</p> <p>・ 出張集団健診は、一定のニーズがあるため、引き続き実施する方向で検討する。</p>
国保年金課	※各数値は速報値（確定時期：11月）	

事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
2. 特定保健指導（未利用者対策事業）	<p>・ 特定保健指導については、対象者452人の内、232人（51.3%）に電話や面談等で実施した。（動機付支援164人・積極的支援68人）</p> <p>・ 特定保健指導未利用者対策としては、次の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健診当日の面談（プレ指導）を実施し174人が参加した。 ■健診後に健診結果説明会を30日開催し、114人が参加した。 ■面談（プレ指導）及び健診結果説明会の不参加者には随時電話で利用勧奨した。 	<p>・ 特定保健指導については、実施率が府下トップクラス（令和2年度法定報告：2位、令和元年度法定報告：4位）であり、引き続き、健診時の面談（プレ指導）を行うなどすることで、現在の実施率を維持していく。</p>
国保年金課	※各数値は速報値（確定時期：11月）	

事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
3. 若年者健診・保健指導（早期介入保健指導事業）	<p>・ 若年者健診の受診者は136人で、受診率は4.3%（前年度比+0.2ポイント）であった。</p> <p>・ BMI値が18.5未満または25以上の者に対して健診当日に実施する保健指導の該当者は44人であった。</p> <p>・ 若年者を対象とした簡易な血液検査事業（スマホドック）の申込率は14.8%（前年度比-1.9ポイント）であった。</p>	<p>・ 国保加入時における健診の説明の徹底や、保険証一括更新時に受診勧奨通知を同封することで、若年者健診の周知を強化する。</p> <p>・ 簡易な血液検査事業（スマホドック）については同様の取組を継続実施し、経年実績を分析する。</p>
国保年金課		

事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
4. 非肥満高血圧高値者・血糖高値者受診勧奨推進事業	<p>・ 血圧高値者に対しては、健診当日に会場でリーフレットを手渡ししながら受診勧奨を行い、血糖高値者に対しては、健診結果通知に受診勧奨リーフレットを同封した。</p> <p>・ 対象者62人（高血圧46人、高血糖16人）に受診勧奨をした結果、49人である79.0%（前年度比-3.1ポイント）が医療機関を受診した。</p>	<p>・ リーフレット内容を随時見直し、適宜内容を変更する。</p> <p>・ 電話が繋がらないケースが多いため、健診当日における啓発を強化する手法を検討する。</p>
国保年金課		

事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
5. ハイリスクアプローチ	<p>・ 血圧は健診当日に医療機関宛の紹介状を発行して受診勧奨し、血糖・脂質は健診後日に電話・面談・訪問・文書等で受診勧奨と生活習慣についての保健指導を実施し、その後の状況を電話やレセプトで確認した。</p> <p>・ 脂質高値者に対しては、生活習慣病関連動画のURLを記載した文書を送付した。</p> <p>・ 保健指導対象者58人全員に指導を実施し、実施率は100%であった。</p>	<p>・ 受診につながりにくいケースに対しては、生活習慣病関連の動画を案内する。</p> <p>・ 前年度のハイリスク者で医療機関・集団健診未受診者に対してのフォローアップ対応や、複数のハイリスク基準該当者への対応も検討していく。</p>
保健福祉課		

事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
6. 糖尿病予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響により、集客型の市民公開講座は実施できなかったが、インターネット上で動画配信をすることで、市民に広く周知した。 ・糖尿病を含む生活習慣病関連の視聴数は2,072回であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における糖尿病予防の周知啓発の方法として動画を実施したが、インターネットを利用できない方へのアプローチ方法についても検討する必要がある。 ・コロナ禍における啓発として、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら、集客型の健康教室も検討していく。
保健福祉課		
事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
7. 糖尿病性腎症重症化予防事業（糖尿病性腎症重症化予防栄養指導事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスクアプローチである保健指導、栄養指導と、ポピュレーションアプローチである受診勧奨を実施した。 ・実施人数はそれぞれ10人、12人、98人であった。 ・事業実施者において、新規人工透析移行者は0人であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の実施人数を上限10人としてきたが、より多く希望者を受け入れるために上限人数を拡充する。 ・電話や面談の実施回数は、対象者の状況に応じて柔軟に対応する。
国保年金課		
事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
8. CKD（慢性腎不全）対策	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問・面談・電話等で腎専門医への受診勧奨及び腎機能を悪化させないための保健指導を実施し、その後の状況を電話やレセプトで確認した。 ・対象者2人に保健指導を行い、実施率は100%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・腎専門医への受診が必要な場合に、主治医からの紹介がスムーズにいかないケースがある。 ・早期に腎専門医へ受診できるよう、かかりつけ医との連携体制の構築を図る。
保健福祉課		
事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
9. 各種がん検診事業	<ul style="list-style-type: none"> ・検診受診率向上のため、未受診勧奨案内に圧着ハガキを使用した。 ・市内小中学校より保護者向けのがん検診案内チラシを配布した。 ・引き続きコロナ禍であるものの全体（5がん）のがん検診受診率は15.6%（前年度比+0.7ポイント）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上のため受診行動につながる効果的な周知を行う。 ・検診機会を拡大するため関係機関と調整を図り、バス検診等の場所も検討する。 ・精密検査対象者への受診勧奨をタイムリーに行い、早期受診・早期治療につなげる。
保健福祉課		
事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
10. 医療費通知および後発（ジェネリック）差額通知事業	<ul style="list-style-type: none"> ・年間総数53,587件の医療費通知を大阪府の共通基準に沿った奇数月に送付した。 ・後発（ジェネリック）医薬品差額通知は年間総数2,818件送付し、利用率は81.2%（前年度比+1.0ポイント）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポータルでの医療費情報の閲覧など、被保険者自身で健康管理ができる仕組みづくりが出来てきているが、現時点ではごく一部のサービスであるため、今後も同様の取組を実施する。
国保年金課		
◇その他の保健事業		
事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村の実施状況の聞き取りや、市内における通いの場の視察などで、具体的なイメージをつかみ、実施の準備を進めた。 ・関連する外部の研修会やセミナーに参加しKDBシステムの操作等を学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施に向けて、関係部署で密に連携しながら、データ分析のうえ健康課題を共有し、本格的に事業を実施する。 ・近隣市と意見交換を行い情報収集をする。
国保年金課、保健福祉課、高齢介護課		
事業名	令和3年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
服薬適正化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上・6剤以上の服薬を基本として、対象者892人に服薬情報通知と残薬バッグを送付し、市薬剤師会との連携のもと、薬局への相談を促した。 ・薬局への相談件数は19件で、長期服薬の医薬品数の減少、重複服薬の該当者数の減少などの効果が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はKDBシステムを活用して対象者抽出を行い、服薬情報通知を作成し対象者へ送付する。 ・送付後の流れはこれまでと同様で、薬局への相談を促し服薬リスクの軽減を図る。
国保年金課		

令和3年度予防接種実施報告

資料3

予防接種名	令和2年度			令和3年度			予定者の考え方	
	予定者数	実施者数	接種率	予定者数	実施者数	接種率	令和2年度	令和3年度
B型肝炎 1回目	605	596	98.5%	691	649	93.9%	令和2年度末で1歳に達する住民、かつ出生時より住民である方	令和3年度に生まれた住民、かつ出生時より住民である方
ヒブ(Hib) 1回目	605	598	98.8%	691	649	93.9%		
小児肺炎球菌 1回目	605	598	98.8%	691	649	93.9%		
4種混合 1期1回目	605	600	99.2%	691	601	87.0%		
BCG	605	598	98.8%	691	571	82.6%		
MR 1期	778	776	99.7%	759	734	96.7%	1歳(令和2年10月1日時点)	1歳(令和3年10月1日時点)
MR 2期	727	668	91.9%	550	520	94.5%	令和2年度中に6歳となる者(前年度末時点5歳)	令和3年度中に6歳となる者(前年度末時点5歳)
水痘 1回目	610	584	95.7%	562	545	97.0%	令和2年度末で2歳に達する住民、かつ出生時より住民である方	令和3年度末で2歳に達する住民、かつ出生時より住民である方
日本脳炎 1期1回目	552	499	90.4%	538	478	88.8%	令和2年度末で4歳に達する住民、かつ出生時より住民である方	令和3年度末で4歳に達する住民、かつ出生時より住民である方
日本脳炎 2期	486	275	56.6%	498	74	14.9%	令和2年度末で11歳に達する住民、かつ出生時より住民の方	令和3年度末で10歳に達する住民、かつ出生時より住民の方
DT 2期	470	341	72.6%	481	338	70.3%	令和2年度末で13歳に達する住民、かつ出生時より住民の方	令和3年度末で12歳に達する住民、かつ出生時より住民の方
ロタウイルス	450	414	92.0%	691	644	93.2%	令和2年度末で1歳に達する住民、かつ出生時より住民である方	令和3年度に生まれた住民、かつ出生時より住民である方
HPV 1回目	2,170	87	4.0%	2,176	121	5.6%	11~16歳(令和2年10月1日時点)	11~16歳(令和3年10月1日時点)
成人MR	妊娠を希望する女性など	MR92名 風しん15名	-	妊娠を希望する女性など	MR78名 風しん12名	-	/	
高齢者 インフルエンザ	22,239	15,169	68.2%	22,319	12,603	56.5%	当該年度4月末時点の65歳以上 年齢別人口	
高齢者 肺炎球菌	2,965	645	21.8%	2,965	601	20.3%	当該年度4月末時点の65歳以上の5歳刻み (R2からは100歳以上の方は対象外)	
風疹5期	219	187	85.4%	60	50	83.3%	当該年度抗体検査の結果で抗体なしの人	

※MR1期、MR2期、HPVの対象者数、接種済数は府報告基準で集計。

※風疹5期は、9,692名に期間延長通知を送付し204名が抗体検査を実施(受診率2.1%)

1～4 回目接種

1 摂津市におけるワクチン接種の状況

(1) 1・2 回目接種

①12 歳以上について

- ・令和 3 年度末時点で、対象者約 77,800 人のうち、1 回目の接種を受けられた方が約 65,300 人（接種率約 84%）、2 回目の接種を受けられた方が約 64,900 人（接種率約 83%）となっており、希望者の接種は完了している状況。

②5 歳から 11 歳について

- ・令和 4 年 7 月 8 日時点で、対象者約 5,000 人のうち、1 回目の接種を受けられた方が約 510 人（接種率約 10%）、2 回目の接種を受けられた方が約 470 人（接種率約 9%）にとどまっている状況。

(2) 3 回目接種

- ・2 回目接種から 5 か月以上が経過した 12 歳以上の方を対象に、現在接種を進めており、人口比で約 58%の接種率となる。うち、65 歳以上の方では約 79%の接種率となる。（令和 4 年 7 月 8 日時点）

※12 歳以上の方の 2 回目接種完了者比では約 69%の接種率となる（65 歳以上の方では約 93%）。

※12 歳から 17 歳に使用するワクチンは「ファイザー社製」のみです。18 歳以上では、「ファイザー社製」または「武田/モデルナ社製」のワクチンを使用する。

2 新型コロナウイルスワクチン 4 回目接種について

(1) 対象者

- ・3 回目接種から 5 か月以上が経過した「60 歳以上の方」、「18 歳から 59 歳のうち、基礎疾患を有する方、新型コロナウイルスにかかった場合に重症化リスクが高いと医師が認める方」となる。

(2) 接種券の発送

- ・5 月下旬より、3 回目接種完了からおおむね 5 か月を目途に順次発送。
- ・基礎疾患をお持ちの方等の情報を市で把握できないため、迅速な接種推進の観点から、3 回目接種の完了から 5 か月以上が経過する 18 歳以上の方全員に、順次接種券を発送している。なお、対象者以外の方が接種することがないように、接種券にお知らせを同封するとともに、広報せつつや市ホームページ等でも注意喚起を行っている。

(3) ワクチンの種類

- ・「ファイザー社製」または「武田/モデルナ社製」のワクチンを使用する。

(4) 接種体制

- ・33 箇所の市内医療機関で接種を進めている（集団接種は実施なし）。
- ・市で予約受付を行う医療機関の接種予約方法は、LINE・電話予約により実施している。